

単元名 かきたい もの なあに(絵)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 色々な形や色を見付け、クレヨンやパスなどを使いながら工夫して絵に表すことができる。  
 (2) 自分の表したいものを表すために、好きな色や面白い形を考えるとともに、表した好きなことについて話したり聞いたりしながら、自分たちの作品を見ることを楽しむことができる。  
 (3) 自分の好きな形や色を使って、思い浮かべたものを絵に表す楽しさを味わおうとする。

## 標準的な展開例

01080101\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書1・2上 P. 2, 3を見て、今までにどんな活動があったか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を見て、気付いたことを発表する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園で、砂遊びをしたよ。</li> <li>クレヨンを使って絵をかいたね。</li> <li>雪で遊んだこともあったよ。</li> </ul> </li> </ul> <p>2～3 好きなものをたくさん絵にかいて楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなものや好きなことを思い浮かべ、どのようにかくか考える。           <ul style="list-style-type: none"> <li>私は果物をたくさんかこう。</li> <li>ぼくは大きなカブトムシをかこう。</li> </ul> </li> </ul> <p>★好きなものを絵にかいてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨン、パスの扱い方について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなものを絵にかいていく。           <ul style="list-style-type: none"> <li>かきたいもの</li> <li>好きな色</li> <li>かき方の工夫</li> </ul> </li> <li>思いのままに塗ったり試したりして表しながら、工夫してかく。           <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の作品を見ていたら、もっとかき足したくなったよ。</li> <li>オレンジの皮つぶつぶをかくよ。</li> </ul> </li> <li>かいたものを友達と見せ合って楽しむ。           <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくは車が好きだからかきました。赤色にしてカッコよくしました。</li> <li>〇〇さんのかいたオムライス、おいしそう。</li> <li>君はセミが好きなんだね。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書1・2上 P. 2, 3</li> <li>幼児期にかくことを楽しんだ経験などを話し合うようにする。</li> <li>自由に発言できるような雰囲気づくりを心がける。</li> <li>年間の活動の見通しをもたせる。</li> <li>教科書1・2上 P. 10, 11</li> <li>一人一人、自分が好きなものを自由にかくことを提案する。</li> <li>好きなものや好きな色などを尋ねたり、友人との会話を促したりして、表したいことが見付けられるようにする。</li> <li>教科書に掲載の児童作品は、形や色、表し方などの多様な表現があるので、それぞれの興味に共感しながら、自分の好きなものを思い思いに発表させるなど意欲をもたせるように参照させてもよい。</li> <li>【評】自分の好きなものや好きなことを絵に表す活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>教科書P. 61を参考にして、使い方や片付け方を指導する。</li> <li>使いやすいように、クレヨン、パスを机の上に置く位置を決めておく。</li> <li>円形や三角形や長方形などいろいろな形の画用紙を用意して、かかせる方法もある。</li> <li>児童がかいている好きなものについて、共感的な言葉で語りかけて支援をしていく。</li> <li>【評】作品を通して、自分の表したいものを表すために面白い形を考えたり好きな色を選んだりする「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>表したいことに合わせて形や色、線や面の塗り方などを工夫している様子を捉えて賞賛し共感的に見守る。</li> <li>友人の表したいろいろな形や色などに気付きお互いの発想を認め合える雰囲気づくりを心掛ける。</li> <li>かいたものを順次黒板に貼り、自然な鑑賞を促す。</li> <li>【評】作品を通して、表したいことを基に工夫して表す「知識・技能」を評価する。</li> <li>作品を見せ合いながら、自分の好きなものを紹介する</li> <li>自分や友人の作品を見て、面白いところや工夫しているところを見付け、交流する場を設定する。</li> <li>【評】自分たちの作品を見合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】